

【関係法規・法令】

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法関係
- 学習指導要領
- 埼玉県教育行政重点施策
- 埼玉県教育課程編成要領

〈目指す教師像〉

- 1 教育に対する熱意と高い倫理観と使命感を持つ教師
- 2 明るく健康的で人間性豊かな教師
- 3 生徒のよさや可能性を引き出し、伸ばすことのできる教師
- 4 人としてのあり方を語り、生徒に生き方を考えさせる教師

＜学級経営の充実・学級の基盤づくり＞

- 居心地よく、安心できる学級づくり
- 考えや思いを受け入れてくれる学級づくり

○学級の課題を改善できる学級づくり

＜生徒指導体制の確立＞

- 生徒の自己指導力の育成
- 毅然とした指導「だめなものだめ」
- 粘り強い指導「きちんと責任を果たす」

＜読書活動の推進＞

- 読解力・メタ認知能力の向上
- 豊かな発想力の育成
- 自尊尊重の態度の育成

＜生徒会活動の自治的な活動＞

- 自分と友を大切にできる心の醸成
- いじめ撲滅活動の推進
- ウェビナーの学級集団づくりに挑戦

学力向上を支える土台

重点目標 生徒視点の学力向上

＜授業内容の定着と学力向上＞

- 三郷の授業の心得の完全実施
- 思考の見える化（発表・ノートへの記入）
- まとめ・振り返りの徹底

（自分自身の言葉で記録できる努力）

- 県作成ワークシートの活用による前川学習（家庭学習）の質的向上と毎日の継続

- MB5 テスト、定期テストへの全力投球

（バ・ギブアップの精神で補習等への積極的参加）

＜学級組織の一員として＞

- 学級の一員としての責任と自覚を持ち、学級組織を支える一人になる。

- 信頼関係づくりに励み、学級・学年集団づくりに貢献できる人材への成長

努力事項 家庭・地域との連携

～貢献と協働の精神（win-win）に基づいた連携の推進～

【学校関係者評価関係項目平均3.5以上】

- ・学区健全育成会を中心とした地域、家庭、小学校との連携
- ・脱コロナ禍の行事の開催内容の工夫
- ・生徒活躍情報発信による地域への関心喚起
- ・ボランティア精神で活動する生徒の育成

令和5年度前川中学校グランドデザイン

学校教育目標

自学・親愛・鍛錬

貢献する

日本一のAKBの学校に

☺ A:相手意識の挨拶

☺ K:きれいな環境

☺ B:みんなで勉強

日本一のAKBを実践する学校 ～積小為大を常に実践する生徒～

今年度の重点目標 授業・学級経営を改善して学力向上

- 各種学力調査、定期テストなどの伸びアップ（平均との差、伸び率、経年変化における向上）
- 学年職員を中心とした生徒理解生徒指導・共通行動の徹底

重点目標

学力向上

個別最適な学び・協働的な学びの実践を通して

【県学調伸ばした生徒の割合県平均以上・市学力調査10段階評価3以下15%以下】

授業力向上の鍵

学級経営の充実

＜1単位時間の授業の質的向上＞

- 教職員相互の授業参観の実施
- 初任者・若手教員の授業改善（育成）とグッド・ジョブ・ワークによる相互の信頼関係づくりの推進

- 「三郷の授業の基本」による授業改善

まとめ振り返り時間の確保

- 考えを深めて意見や考えをもつ主体的・対話的深い学びの授業づくり

- ICTを活用した個別最適化学習の促進

- 読書活動を通して心を耕す指導の充実

＜準備力と徹底力＞

- 板書計画の点検指導とその充実

- 過案簿による授業の徹底

- 教科会メンバーによる情報交換と授業

改善のアイデアの伝承

【話し合い活動の実施年間6回以上】

- ・学級経営案の作成＝計画と見通しの明確化

- ・計画的な学級活動の時間の実施と充実

- ・行事を通じた学級内の人間関係の構築

- ・人間関係を円滑にする方法の指導

- （SSTやロールプレイによる自己啓発）

- ・学級集団の科学的分析とその活用

【学年職員全員による学年担任意識】

- ・相談員・SCと担任との緊密な連携、副担任との共通行動

- ・短学活・給食指導・清掃指導・登下校指導等の共通行動の徹底

- ・適材適所の学年分掌によるチームワーク行動と業務の効率化（生徒ファーストの視点）

- ・教育相談体制の充実

- ・脱コロナ禍の学級経営の工夫

【三郷市教育行政重点施策】

- 児童生徒の学力向上
- 心の教育の推進
- 教職員の資質向上
- 教育環境の整備促進
- 次世代リーダーの育成
- 日本一の読書のまち三郷の推進
- 読書環境の整備と充実
- 学び（市民大学）の充実
- 郷土資料館展示の充実
- 人権啓発・教育の充実

〈目指す生徒像〉

- 1 創造的で、将来の夢を持つ生徒（夢）
- 2 自ら学び、自ら考える生徒（知）
- 3 自己を愛し、友を愛し、思いやりを持つ生徒（徳）
- 4 進んで体を鍛え、健康でたくましい生徒（体）

学校研究課題

『自ら考え、ともに学び、主体的に伝え合う生徒の育成』

～学級経営と学習指導の充実を通して～

仮説1 活気にあふれ、所属感のある学級経営ができれば生徒の自己表現力を高める。

仮説2 授業力を伸ばし多面的多角的の見方考え方ができ学力の向上につながる

努力事項 不登校・長欠生徒の減少

～将来を前向きに考える自立に向けての支援の充実～

【長期欠席生徒の割合の減少】

- ・早期対応による深刻化の回避
- ・各段階における生徒・保護者の心理を考慮した対応
- ・教育相談部会・学年会の充実
- ・相談員・SC・SSWと緊密な連携
- ・適応指導教室等の関係機関と連携し効果的な活用
- ・学校生活に関するアンケートの活用
- ・計画的な家庭訪問と放課後登校の実施
- ・小中連携による長欠対策（生徒指導加配教員の活用を図る）
- ・教育相談シートの活用

努力事項 特別支援教育の推進

～特別支援教育の視点に立った教科指導・生徒指導の充実～

【校内研修複数回の実施】

- ・障がいの実態に応じた個への指導の徹底
- ・就学相談委員会の活性化
- ・交流教育の促進による理解と支援
- ・教職員研修による個性等への理解と対応方法の開発
- ・特別支援学級に多くの教員が関わるための教育課程の工夫

日本一のAKBを実践する学校

B 学習習慣の向上

K きれいな環境

誇り

A 挨拶の徹底

前川プライド

地域・保護者の力

徹底した準備力としての授業力と学級経営

積小為大を常に実践する生徒

生徒

MGPT

PDCAサイクル